

教育課程上の名称		総合的な探究の時間					
学校において定める目標		探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようになるために、以下の資質・能力を育成する。 (1) 地域や社会で起こっていることから、因果関係や背景となっている事象を含めて俯瞰的に理解するとともに、批判精神を持って自分なりの課題を見いだすことができる。 (2) 課題についての情報を集め、分析して、解決に向けての見通しを持つことができる。 (3) 課題に対して、他者と協力し、多様な考えを取り入れながらよりよい解決像や納得解を求めることを通して、自己の在り方生き方を考えることができる。					
講座編成及び授業担当者		講座編成: ①探究スキルの習得講座については、クラスまたは学年で展開 ②生徒が設定した課題についてはクラスを超えて同じ課題ごとにグループを編成し担当者を充てることも考慮する 担当者 : 全職員					
設定時間		(火曜日、 6時限目)				単位数(1)	
時期月週日	探究課題	指導時数	探究の過程(時数)	学習活動(学習のねらい)	探究課題を通して育成を目指す資質・能力	主な言語活動	他教科等との関連
4~6月	他者との対話による課題の発見	10	他者との対話(4)	・文化祭の準備などにおいて、グループにおいて他者と対話しながら協働することで、共同体の現状を認識し課題の発見につなげる力、他者との意見の違いや多様性を尊重する力を身につける。	・身の回りの環境を客観的に認識する能力 ・他者と協働する能力	・ワークシートを利用して思考の整理 ・グループワークによる意見の交換 ・グループ単位で調査	・「公共」の授業と連携し、自己の探究活動のテーマについて、更に幅広い知見を身に付ける。
			課題の認識(6)	・前年度に実施した探究活動について、外部識者からの評価をいただき、それを踏まえてグループにおける他者との議論によりさらなる課題を発見し、その論点を整理する。	・課題を認識し、その論点を抽出する技術 ・自己の考えを整理し伝える能力		
7~8月	自己との対話による課題の追及	2	課題の追及(2)	・認識した地域の課題について、自己分析や自分の生き立ちも踏まえながら、その背景等について自分なりの考察を行う。	・自己分析能力 ・疑問の解決を通じてさらなる疑問を見つける能力		
9~12月	課題の明確化、探究の深化	13	情報の議論(5)	・夏季休暇中の互いの活動についてグループで発表・議論し、探究活動のまとめに向けた議論を行う。	・自己の考えを整理し伝える能力 ・他者と協働する能力		
			情報の整理・分析・まとめ(8)	・集めた情報をグループで整理・分析し、課題の解決についてのグループの主張を形成する。 ・校外での調査活用や、外部識者へのヒアリング等を行い、より深い探究活動を行う。 ・修学旅行における訪問先についての調査を行い、比較・分析することで、より深く考察する。	・情報の体系的な整理、分析能力 ・ある課題についての論理的な思考力 ・他者の視点、考え方を受け入れることができる資質		
1~3月	探究活動の成果のとりまとめと振り返り	10	発表・評価(5)	・2年間の探究の成果をとりまとめる。 ・成果を対外的に公表し、生徒同士、学校内外からの評価を得る。	・他者と協働する能力 ・自己の主張を論理的に行う能力		
			探究活動の振り返り(2)	・探究成果の他者からの評価を踏まえ、探究活動を客観的に振り返る。 ・活動の良かった点、改善すべき点等をまとめる。	・他者の視点、考え方を受け入れることができる資質 ・自己の活動を言語化する能力		
			新たな課題の設定(3)	・活動の振り返り等を通じ、自身の進路実現に向けた課題を発見・設定する。	・身の回りの環境を客観的に認識し、課題を設定する能力		
指導時間数の計		35					